

“健全な土づくり”のための稲ワラすき込みは、強いイネ作りの効果や、病害虫や雑草を抑制する効果も期待できます。土中での稲ワラ分解が進むよう、収穫後速やかに行うことが大切です。

病害虫への抑制効果



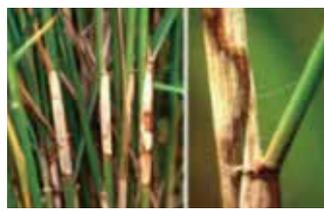
いもち病菌

菌は、種子や被害ワラで越冬し、翌年の発生源となりますが、腐熟、分解した稲ワラではいもち病菌は越冬できません。



黄萎病

イネの再生芽(ひこばえ)を、越冬前のツマグロヨコバイが吸汁して病原体を獲得し、虫の体内で病原が越冬して翌年の発生源となります。すき込みは、病原体を持ったイネの再生芽を枯死させ、ツマグロヨコバイの越冬場所を減らします。



紋枯病

紋枯病にかかると茎葉が枯れ上がり、未熟粒の増加や米粒が小さくなり減収します。今年度に多発生した圃場では、特に注意が必要です。早期に稲ワラを深くすき込むことで、地中深くに菌核を埋没します。



ニカメイガ

一般的に幼虫が稲ワラの中で越冬するため、越冬幼虫を減らすことができます。

稲ワラのすき込みは、本田で越冬する病害虫を一般的に抑制する効果が期待できます。

さらに相乗効果も!

病害虫抑制効果

雑草抑制効果

腐食促進効果

健全な
土づくりの第一歩

合わせて土づくり資材の投入も!

JAの土づくり資材 **田華の豊稲** は、アルカリ補給だけでなく **ケイ酸・リン酸** も豊富に補給できます。

病害虫に抑制効果のあるケイ酸は、60kg散布で約18kgのケイ酸が補給できます。

※委託散布も行っております。
(委託散布料金
1,100円/10a当り)

石灰窒素で稲ワラの腐熟促進!

翌年の代かきまでに、稲ワラがよく腐熟して、稲ワラの浮上や初期の窒素不足、根腐れを起こすなどの問題は少なくなり、良質米生産につながります!



+



→

腐熟促進
地力向上

水稻を刈り取ったあとに、「石灰窒素」10a当たり10kgを水田表面の稲ワラに散布して、速やかにすき込んでください。

※「粒状石灰窒素」には、窒素成分・農薬成分が含まれておりますので、翌年の環境こだわりほ場への施用にはご注意ください。

10/31
まで

令和4年 秋の農作業安全運動 展開中!

農業従事者の高齢化、農業機械の大型化などに伴い、農作業が集中する春と秋の農繁期を中心に、毎年多くの農作業事故が発生しています。特に、コンバインやトラクタの使用等に伴う基本操作ミスや安全確認不足による農作業事故の発生が多いので気を付けましょう!

